

---

# ヘルスクール

バイハ侍

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ヘルスクール

### 【Nコード】

N5233M

### 【作者名】

バイハ侍

### 【あらすじ】

バイオハザード2より数年…

ラクーンを脱出したシェリーは高校生になっていた。平穏な生活を送っていた彼女に再び恐怖が近づく…。

恐怖の結末は…そして、恐怖の真相とは…！？

## 小さな大脱出〜登場人物・クリーチャー紹介〜（前書き）

シエリーを主役にしたバイオハザードです。スーパーマンのように戦う主人公ではなく一般人として逃げながら道を切り開く主人公を書きたいと思います。

## 小さな大脱出／登場人物・クリーチャー紹介／

### 人物紹介

シェリー・レッドフィールド

ラグーン的事件後クレアの養女となりヴァームハイスクールに通う。

アンナ・ラズリー

シェリーのクラスメート。アーチェリーは全米3位の實力。

ミーシャ・ホルネマイル

シェリーのクラスメート。学校へはあまり顔を出さずネットゲームばかりしている。

ガーネツシュ

生物学教師。

リンクマン

体育教師。

ボラン

保険医。

リンダ

物理教師。アンナの母親。

クリーチャー

ゾンビ

ウイルス感染した人間の成れの果て。

マンイーター

ウイルス感染した食虫植物。ツタを伸ばし獲物を捕食する。

マンイーター改

マンイーターが獲物を求め変化した形、毒液を飛ばす他、根を足のように変化させ移動を可能にしている。

## プロローグ（前書き）

既に事件が発生した状態で物語は始まります。  
何が起ったのかは物語がすすむにつれて明らかにしていきます。

## プロローグ

私はシェリー。

シェリー・レッドフィールド。

ラクーンの事件後私はクレアの養女となりヴァームハイスクールに通っている。

ここヴァームハイスクールは生徒寮、商業棟、学園棟からなる要人の子供が通う一貫性カリキュラムの学校……そして容易に外部から侵入を許さない建造物は絶対安全をうたっていた……しかし今になりようやく気づいた。

外部から侵入が困難と言うことは脱出も困難だと言うことに………。

はあ……はあ……。

いったい何時間経ったのだろう……。

私は今トイレの中で息を潜めている。

私のパパとママを奪ったあの恐怖から身を隠すために。

「ア、ア、」

ズリ……ズリ……

この引きずるような足音……吐き気をもよおす二オイ……間違いなくあのゾンビだ。

クレア……

思わず泣き出してしまいそんな自分の弱さを押し留め、私はこの学

校からの脱出を決意した。

まだ死にたくない！大好きなクレアの家に戻りたい！



## 決別の一步

私は耳をすまし、外の様子を探った。

時より外を徘徊する足音が聞こえるが、数は多くない。

これなら…

シェリーはゆつくりとドアを開け踏み出した。

外の様子を見るが近くにゾンビは見当たらない。

「まずは、クレアに連絡をしなくちゃ…」

シェリーは三階の教室を目指し歩き出した。

この学校は非常にわかりやすい造りをしており一階に各講師の研究室、二階に特別教室、三階に生徒の普通教室が並ぶ。各フロアは窓こそあるものの全ての窓が完全防弾となっており、ドアも特殊合金で作られている。

万が一テロリスト等に占拠された場合にも三階に来るまでに教室に立て籠る。という意図がある。

この階段を上がれば教室はすぐそこだ…そうシェリーは心の中で呟いた。

しかし、シェリーは気づいていなかった。自分の後ろにゆつくりと迫るもう一つの影を…。

## 再会と予感（前書き）

久々の更新です。

## 再会と予感

「シェリー！！」

いきなり私の背後から声が聞こえた。

「アンナ！」

そこに居たのはクラスメートのアンナであった。

「シェリー！よかった！シェリーも他の皆のようにあの化け物に…」

「私は大丈夫！アンナこそ大丈夫？噛まれたりしてない？」

私は万が一を考えアンナに確認をした。場合によっては一緒に行動するのはきけんになる。

「大丈夫。実はずっとトイレに隠れてたの。生まれて初めて男子トイレに入ったわ。」

アンナはシェリーが隠れてた女子トイレの隣に隠れており、シェリーの姿を見て追いかけてきたのである。

「よかった…とにかく一緒に教室に行きましょう。」

二人は慎重に教室に向かって歩き始めた…。

「こちらアインス生存者2名…ウチ1名はBの疑いあり、確認の為に3階にマンイーターを放つ。なお直接の接触は現段階では各自自重するように。  
繰り返す…」

謎の男は物陰からそう無線で呟いた。携帯電話があるから助けを呼ばないと！」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5233m/>

---

ヘルスクール

2010年10月8日12時27分発行